

第44回稲沢市民病院 | 病診連携懇話会を令和5年5月31日(水)に開催いたしました。
稲沢市医師会会員の方々、その他医師会会員の方々、遅い時間での研修にも関わらず、
たくさんのご参加ありがとうございました。

テーマ①：「超音波内視鏡下穿刺吸引生検 (EUS-FNA) の現況」

講師：消化器内科 医長 青木 聡典

超音波内視鏡下穿刺吸引生検 (EUS-FNA) で経消化管的にアプローチできる範囲は広く、リスクも少ない
手技のため、今後、ニーズが高まる可能性を当院の症例を紹介しながら発表しました。参加された医師
から「今後、病理診断から治療方針の決定につながれば。」という趣旨のご意見もいただきました。

テーマ②：「内分泌内科と骨粗鬆症」

講師：糖尿病・内分泌内科 部長 野村 由夫

糖尿病・内分泌内科 部長 新居 晶子

骨粗鬆症に関連して診断方法や治療方法、間脳下垂体・副腎疾患の診断に必要な検査についてなど
発表しました。



今後とも地域の医師の方々と情報共有、交換を行いながら
稲沢市の医療の発展に努めてまいります。

生活習慣病を防ごう！
いつまでも元気でいられる食生活

出前講座

行ってきました。



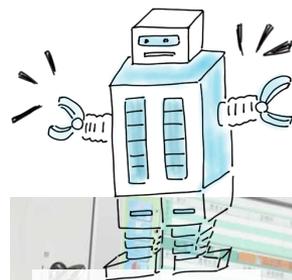
日時 | 2023年6月16日 11:00~12:00

場所 | 勤労福祉会館 第1会議室

講師 | 糖尿病看護認定看護師 長縄看護師

稲沢民主商工会婦人会の12名の方にご参加いただきありがとうございました！

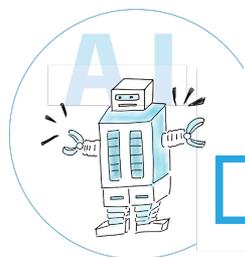
和やかな雰囲気であった今回の出前講座。ベテラン講師の長縄看護師によって生活習慣病を“あなたごと”として食事などを中心に皆さんとお話しながら楽しい講座となりました。主婦の方が多く、**減塩料理の方法**など講師の具体的なアドバイスに頷いている方が多かったです。参加者の皆さんに健康のために心がけていることをお聞きしたら皆さん、健康意識が高く、携帯で毎日の食事を撮影して彩りや全体のバランスをチェックしている方、毎朝9種類の野菜を食べている90代の方、具沢山スープをお酒の前に意識して食べる方などまだまだご紹介しきれない秘訣がたくさん！！皆さんのパワーたくさんいただきました (^_^) 稲沢市民病院では、地域で病気の予防に努めています。出前講座のご依頼をお待ちしています。



薬剤局 調剤室に ロボット？

おくすりのセットをする調剤室の仕事は約30年前までは、
ほぼ手作業でおこなってまいりました。しかし、コンピューター
が導入され、院内のほとんどが電子化されました。そして
この春、調剤室に調剤ロボットが導入されました。そして
ロボットの役割についてご紹介していきます。





調剤室に ロボット!



調剤ロボットの特徵

- 人間より正確に包装された薬品を取り揃えてくれます。
- 24時間不眠不休で働いても大丈夫。
- きちんと指示どおりに動いてくれます。

時代の変化に伴い、病院薬剤師の役割も進化をしています。単に薬を調剤するだけではなく、患者さんの健康管理や薬物療法の効果・安全性の確保にも重要な役割を果たしています。調剤ロボットなど薬剤局のシステム化を進めるにあたり、病院薬剤師はより多くの時間を患者さんや病棟との対話や情報提供に充てることできるようになりました。

薬ができるまでの流れ

入院の処方せんが流れてきたら・・・処方監査→薬袋作成→「錠剤分包機」「散薬分包機」「調剤ロボット」「手払い出し」→「ハンディ確認」→最終検薬 このような流れで病棟にあげります。

①処方監査



処方せんの監査をします。

②錠剤分包機



錠剤を分包します。

③散薬分包機



散薬はこの機械で分包します。

④調剤ロボット



包装された薬の多くはこのロボットから自動調剤されます。

⑤ハンディ確認



手払い出しの薬剤とハンディにて照合します。

⑥最終検薬



最後は薬剤師にて総合的に確認して薬袋に薬をいれます。

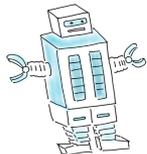
ロボットと人間のそれぞれの特徴を活かす

- すべての薬品をロボット払い出しにはできない

- 設定ミスには気がつくことはできない

- 薬品の補充、消耗品などメンテナンスが必要

ロボット



人間



共存

- ロボットにできない部分は人間の手が必要

- 正しく動くように設定するのは人間

- 効率よく動かすのも人間が決める

- メンテナンスは人間が担当



最近では薬剤師が病棟などでミニレクチャーを行う機会が増えています。医師や看護師、他の医療スタッフと連携を密にして、お互いの知識を深めていきます。 確実かつ迅速な機械払い出しを実現するために薬剤師はより高度な業務にシフトしています。

ヒトの調剤と機械の調剤では、圧倒的にエラー率が違います。機械によるエラーは0ではないですが、ヒトが機械のエラー率を超えることは不可能です。

ロボットにできて、人間にできないこと、人間にできて、ロボットにできないこと・・・

これからのミライは、お互いの長所、短所を理解して共存していくことがテーマとなります。